



前原中だより

船橋市立前原中学校

第5号

令和7年9月1日発行

- 教育目標 「調和のとれた人間性豊かな生徒の育成」
- (1) 確かな学力・自ら学んでいく生徒を育成する
 - (2) 豊かな心・他者を思いやる生徒を育成する
 - (3) 健やかな体・健康で活力のある生徒を育成する

前原とその周辺 ～JR 津田沼駅は前中学区？～

前原中学校長 今井 弘

厳しい残暑が続いておりますが、保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。9月1日は関東大震災のあった日ということもあり、今年度も引き渡し訓練を実施しました。お忙しいところ多くの保護者の方にご協力いただき、心より感謝申し上げます。今月は体育祭、来月は合唱祭も予定されていますので、ぜひお子様の様子をご覧くださいと思います。

さて、母校と郷土に愛着と誇りをもってもらおうと始めた「前原とその周辺」ですが、今回は JR 津田沼駅の1・2番線ホームの表示について取り上げてみました。ご存知の方も多いと思いますが、ホームには右の写真のような表示があります。旅行的行事で津田沼駅を利用するとき、子供たちにはこの表示を見せながら、市境＝前中学区の線でもあることを話しています。

そもそもなぜここに市境があるのかと言うと、二宮町と津田沼町の市境に、後から駅が建設されたためです。『船橋市史』の二宮郷土読本には、津田沼駅について次のように書かれています。

「町の南部に総武本線津田沼駅がある。津田沼町とは本町の南方に接続している町であるが、その町の中心から駅の所在は十数町（1町は約109.09m）離れていて、その間は田と畑と鉄道第二聯（鉄道第二連隊）とであるから津田沼駅と言うよりもむしろ二宮町の駅としての感がある。」二宮町の人たちからすると津田沼駅は、自分たちの町の駅であるという意識が強かったようですが、残念ながら現在に至るまで、駅名に二宮町の名前がつくことはありませんでした。

話は津田沼駅の市境の表示に戻りますが、この表示ができたのはコロナ禍のことです。当時は外出が減り、みんなで集まらない状況が続いていました。そこで前原商店会では、各々が自分のペースで市境を探して楽しむフォトラリーを企画しました。その候補の1か所が、津田沼駅でした。前原商店会の大家会長は、津田沼駅に相談しましたが、「頼んでもだめかもしれない」と思ったそうです。しかし、当時の JR 津田沼駅の小林駅長が快く引き受けてくださり、表示が実現したそうです。こうして完成した市境の表示は、コロナ禍で大変なお思いをしていた多くの人たちを元気づけたのではないのでしょうか。

他にわかりやすい市境としては、東部公民館前の線路沿いにある右の写真のような標識があります。暑さが和らいだら、市境である津田沼駅周辺を散策してみるのもいいですね。

参考：『船橋市史 史料編五』

協力：船橋市郷土資料館、JR 津田沼駅、船橋市前原商店会



津田沼駅の市境



船橋市と習志野市の標識

学校と教育委員会からのお知らせ

◇ 令和7年度就学援助制度

「就学援助制度」は、経済的な理由により学校で必要となる諸経費についてお困りの保護者に対して、その一部を援助する制度です。就学援助の認定者は校外活動費等の補助や給食費の免除が受けられます（但し、学校徴収金は納付が必要です）。申請を希望する方は、学校・教育委員会学務課・船橋駅前総合窓口センターにある「令和7年度就学援助申請書 兼 同意書」（市ホームページからもダウンロード可能）に必要事項を記入し必要書類を添付して、学校へ提出してください。既に令和7年度就学援助制度に認定されている方は、申請不要です。会社都合での解雇や傷病による失業・休業（自己都合理由は対象外）により収入が減少する見込みの場合は、学務課までお問い合わせください。

問い合わせ先：

就学援助制度について 学務課 0 4 7 - 4 3 6 - 2 8 5 2

学校給食費について 保健体育課 0 4 7 - 4 3 6 - 2 4 1 8

市ホームページ：<https://www.city.funabashi.lg.jp/kodomo/teate/005/p008693.html>

※船橋市外から通学されている方は、住所地の教育委員会就学援助担当課へお問い合わせください。

◇ 詐欺被害防止に関するお願い（千葉県警察より）

千葉県警察から、「ニセ警察詐欺」の被害急増に関する注意喚起がありました。

実際に保護者の方々や我々教職員にも被害が発生しているとのことですので、添付の広報動画をご覧ください。

～動画URL～ <https://youtu.be/0Y99YuRyZnY>



「以下保護者の皆様宛に千葉県警察からのメッセージです。」

千葉県警察生活安全総務課です。

現在、警察官をかたってお金をだまし取る「ニセ警察詐欺」の被害が急増しており、若い世代の人も多く被害にあっています。

この手口の一件当たりの平均被害額は1千万円を超えており、被害にあってしまえば、家族の将来を一変させると言っても過言ではありません。

これまでの被害では、手口を知ってさえいれば防げたケースが多くありますので、保護者の皆様に「ニセ警察詐欺」の手口についての、動画のURLを送付いたしますので、被害にあう前に是非ご覧ください。